

様式 5

平成 29 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 29 年 12 月 27 日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学類・教授

申 請 者 名 塘 忠 顕

助成事業の区分 (該当するものに印)	研究協力に関する事業 ( 学術出版・叢書・学会等運営・ 学会参加 ) 学術振興に関する事業 ( 学生・事務職員・その他の特別事業 )
事 業 名	日本動物学会第 88 回大会
事業実施期間	平成 29 年 9 月 21 日 ~ 平成 29 年 9 月 23 日
成 果 の 概 要	平成 29 年 9 月 21 日 ~ 平成 29 年 9 月 23 日, 日本動物学会第 88 回大会 ( 富山県富山市の富山県民会館にて開催 ) に参加し, 研究室の大学院生, 大平創の共同研究者として「韓国における 1997 年以來のカニムシ相調査 - 韓国産および日本産カニムシ類を用いた分類学的・系統地理学的研究」, シンポジウム講演「カニムシ学: その生態と多様性」とのタイトルで口頭発表を, 研究室所属の学術振興会特別研究員 ( PD ), 真下雄太氏の共同研究者として「昆虫卵における精子の侵入孔は, いつ獲得されたのか: イシノミ目における受精様式の解明」とのタイトルでポスター発表をそれぞれ行った。また, シンポジウム「数ミリ以下の動物学 VI. 小さな動物たちの多様な生き様」を新潟大学理学部の宮崎勝巳氏と共同でオーガナイズし, 30 名以上の参加者を得た。その他, 本部企画特別講演 ( ナリシゲシンポジウム ) 「脊椎動物への道」, 各種シンポジウム, 関連集会, 口演発表, ポスター発表などに参加し, 昆虫や節足動物の発生, 形態, 系統, 分類などに関する最新の知見を得た。また, 節足動物の発生や系統を専門とする研究者と意見交換も行った。